吉田保育所

	/n A)							
	保育理念	○ 総合的に心身ともに健やかな	:子どもを育成すべく、しっかり遊び	にめる環境を工夫し、	保育を展開	展開していく。また、保護者の心に寄り添いながら、子育ての良きパートナーとなるよう心がけて保育運営にあたる。				
	保育方針	〇豊かな人間性をもった子どもの育成を目指す。 目 :			目指す	子ども像 ○健康で明るい子ども ○優しく思いやりのある子ども ○自分で考えて行動し最後までやりとげる子			きえて行動し最後までやりとげる子ども	
年齡別 保育目標		O歳児	1歳児	2歳児		3)	歳 児	4歳児	5歳児	
		○清潔で安全な環境の中で 個々の生活リズムを整えながら、安心してゆったりと過ごす。 ○保育者等の受容により信頼関係を築く。	○安心できる保育者との関係の下で基本的な生活習慣を獲得しようとする意欲をもつ。 ○豊かな経験を通して言葉を獲得する。 ○いろいろな動きを経験してしなやかに体を動かせるようになる。	中で、基本的生活習慣 け自分でしようとする。	貫を身に付 意欲をも 育ち、つな 。 申びと体を	とを自分でしようと 〇保育者や友だち ていく中で人との問	とのつながりを広げ	〇生活体験を通して相手のことを考え	身に付ける。	
				保	育	内	容			
		O歳児	1歳児	2歳児		3	歳児	4歳児	5歳児	
養	生命の保持	〇 一人一人の子どもの生活リズムを重視し、生理的欲求を満たし、生活の安定を図る。	○家庭との連携を密にして安 心・安全に過ごせるようにする。	〇自我の育ちを大切! 心・安全に過ごせるよ				〇自分でできることに喜びをもちながら健康安全など生活に必要な基本的な習慣を身に付ける。	〇自分でできることに喜びを持ちなが ら健康安全など生活に必要な基本的 な習慣を身に付ける。	
護	情緒の安定	〇スキンシップを十分にとりなが ら心身共に快適な状態をつく る。	〇一人一人の子どもの生理的 欲求や依存欲求を満たし、生命 の保持と情緒の安定を図る。	緒の安定を図る。	保持と情	満たし生命の保持 る。	と情緒の安定を図	○様々な経験を通し、自己肯定感を育み自信をもたせる。 ○基本的な生活習慣を身に付ける。	○友だちとの葛藤を経験しながら互い に認め合い、自己肯定感を育てていけ るような関わりをしていく。	
	健康	〇健康で安全な環境をつくり快 適に生活できるようにする。	○身の回りの簡単なことを自分でしようとするようとする。	〇身の回りのことを援 らいながら、自分でや る。		○身の回りの清潔 ○生活に必要な活 する	を心掛ける。 動を自分でしようと	〇自分の体に関心をもち、異常を感じたら、自分から保育者に知らせる。	〇室内外の危険な物や場所、危険な 行動を知り、気を付けて行動する。	
教	人間関係	〇特定の保育者との関わりによ	○友だちや保育者との関わりを 楽しむ。	〇身近な大人や友だを持ち、自らかかわろ		〇友だちとルール でルールを守る。	のある遊びをする中	〇友だちと一緒に活動する楽しさを知 る。	〇遊びや行事を通して、友だちを応援 したり力を合わせたりすることの大切さ を知る。	
育	環境	り信頼関係が生まれる。 〇安心できる環境の下で、感覚 の働きを豊かにする。	〇身の回りの様々なものに触 れ興味や好奇心を持つ。	〇自然と触れ合う中で 探究心が生まれてくる	5.	○身近な動植物に 保育者や自分より て、世話をしようと	大きい友達を真似 する。	〇身近な自然に興味関心をもち、調べたり世話をすることで生命の尊さに気付く。	な感性を養い、いたわったり大切にし たりする。	
	言葉	 ひ語りかけられることにより声を 出し応えようとする。	欲的に言葉を発する。	○生活や遊びの中で 葉でのやりとりを楽しる	む。	○自分の思いを言 手の話を聞いたり		〇保育者や友だちとの会話を楽しみ 伝え合う喜びを味わう。	〇人の話を聞いたり身近な文字に触 れたりして、言葉への興味を広げる。	
	表現	○聞く見る触れるなどの経験を して感覚や手指の機能を動か す。	びをして、リズムに合わせて体 を動かして遊ぶ。	○個々のイメージを膨がらリズム遊びや運動表現する楽しさを味わ	助遊びなど	○様々な素材や用 とエ夫して遊ぶ。		〇いろいろな素材や用具、表現方法に 関心をもつ。	表現したり演したりして遊か楽しさを味 わう。	
	健康支援	・家庭状況・成育状況・健康状態の把握 ・年2回の嘱託医による内科検診・年1回の定期検診(眼科・耳鼻科・歯科) ・尿検査 ・日々の視診で異常が認められたときの対応				小学校との連携	・ブロック研修会へ・小学校の参観日々	への参加・小学校1年生、5年生との3	・小学校プールに行かせてもらう	
	安全対策	・避難訓練(毎月 火災・地震・水害・不審者対策 消火訓練) ・消火器具点検(年2回) ・室内外安全点検 ・事故報告書の記録と情報共有				小学校以上 との連携	・年5回の新吉中学校区校園所長会の開催(授業参観・保育参観・情報交換・連携の推進) ・ブロック研修会 ・ブロック人権研修会 ・職場体験、ボランティア受け入れ			
食育			など、豊かな食の体験を積み重ね グ・・・収穫した野菜を使って、行事		<u></u> - 育む。	地域との連携	・園庭開放 ・地域の行事への参加(地区運動会・ふるさと祭り・敬老会・地区文化祭他) ・人権文化祭へ作品出展 ・幼稚園との交流(年2回)			
職」	員の研修計画	キャリアアップ研修ステップ		·保育研修講座 内研修		特別な配慮を 必要とする 子どもへの対応	・特別な支援を必要とする子どもに対してその特性を把握して、個別の指導計画を作成し、園全体で正しい理解と認識を深め、対応する。			
保護者への 子育て支援		・年10回のがんばりカード、子どもの実態把握・生活改善へ ・クラス懇談(4・5歳児)個人懇談2.3.4.(5歳児) ・保護者研修の開催 ・保育参加				主な行事	・入所式/家庭訪問/4月参観日・保護者会総会/遠足/6月参観日/プレイナイト/ふれあい運動会/ 芋ほり/七五三/発表会/クリスマス会/餅つき大会/お店ごっこ/2月参観日/保護者会総会/ お別れ遠足/新入児打ち合わせ会/お別れ会/修了式 ・毎月(誕生日会 外国語活動 避難訓練 園庭開放 交通指導 安全点検)			

	O歳児	笠岡市立吉田保育所 年間保育計画							
教	双育・保育目標	〇保健的で安全な環境のもとで個々の欲求が満 〇保育者との信頼関係をもとに安心して周囲と		巻 護 安定を図る。	させ、生理的欲求を満たして生命の維持と情緒の				
	年間区分	I期(6か月未満)	Ⅱ期(6か月から9か月)	Ⅲ期(9か月から1歳3か月)	Ⅳ期(1歳3か月から2歳未満)				
	ねらい	○家庭での生活と園での生活を常に連携し、無理なく園生活に慣れるようにする。(養)○保育者にしっかり気持ちを受け止めてもらい、安心して過ごす。(教)	〇一人一人の生活リズムや健康状態に合わせて、機嫌よく過ごせるようにする。(養) 〇様々な欲求(食べる・飲む・眠る・遊ぶ) や甘えたい気持ちを十分に満たされ、安心 して過ごす。(教)	に経験できるようにする。(養) 〇共感的なコミュニケーションを取ってもら	とで、自分でしようとする気持ちを育てる。 (養)				
育て	健やかに伸び伸 びと育つ	・食事(授乳), 睡眠, 排泄などの欲求が満たされ, 一人一人の生活リズムで心地よく過ごす。	・いろいろな食材の味や舌触りに慣れ、喜んで食べる。・お座りをしたり、腹ばいで前進したりする。・おむつを交換してもらい気持ちよく過ごす。	ようとする。 ・おまるに座ることに慣れる。	食べようとする。 ・保育者の言葉掛けでトイレに行き、見守られて排泄をする。 ・着脱に興味をもち、手足を動かそうとする。 ・一人歩きが安定し、小走りをしたり、段差のあるところを歩いたり、飛び降りたりしよ				
たい子ども	身近な人と気持 ちが通じ合う	・身近な保育者とのスキンシップや触れ合い の心地よさを感じる。	・保育者と触れ合い遊びを楽しむ。 ・身近な保育者に親しみを強くもち、同時に 他の保育者にも関心をもつ。	・喃語や指さしを受け止めてもらい, やり取りを楽しむ。	うとする。 ・保育者の仲立ちにより、友達と関わって遊ぶ。				
も の 姿	身近なものと関 わり感性が育つ	・玩具などを手で触ったり、握ったり、口の中に入れたりして感触を楽しむ。・外気浴や日光浴を通して自然に触れ、心地よさを感じる。	・いろいろな形,大きさ,重さ,感触のおもちゃに触れて遊ぶ。・音の出る玩具を持って振ったり,たたいたり,音を出したりして楽しむ。	・保育者の歌に合わせて手足や身体を動かし	・指さしや片言(一語文)で自分の思いや要求を伝えようとしたり、やり取りを楽しんだりする。・指先を使った細かい動きを楽しむ。・保育者がするしぐさ、遊びを真似て楽しむ。				
	環境構成と 援助の工夫	とした温かい雰囲気の中で過ごせるようにする。 〇個々の健康状態や家庭での生活について保護者と確認し合う。 〇睡眠時に一人一人の安全確認を十分に行	安全面や衛生面に留意し、活動しやすい環境を整える。 〇離乳食は、保育者の状態に合わせて量や形	うに、興味や発達に合わせた環境を整える。 〇自分で食べようとする気持ちを大切にしたがら、見守ったり介助したりする。 〇喃語や片言、指さし等にしっかり応え、やり取りを楽しむことで言葉の発達につなかるようにする。	用意する。 〇一人一人の食事量や食べ方に合わせて介助 をし、自分で食べた満足感をもてるように する。				

1 歳児				<u> </u>	岡市立吉田保育所 年間保育詞	計画	
教育・	教育・保育目標 <u>年間区分</u>		○簡単な身の回りのことを自分でしてる	て過ごす中で,人や周りの物への関心をま みようとする気持ちをもつ。 身を使った遊びや模倣活動を十分に行い	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	〇一人一人の生理的欲求や自我の芽生活 受け止め、情緒の安定を図る。 〇十分なスキンシップをとりながら、自るようにする。	
年			I期(4月・5月)	Ⅱ期(6月・7月・8月)	Ⅱ期(6月・7月・8月) Ⅲ期(9月・10月)		Ⅴ期(1月・2月・3月)
ねらい			〇新しい環境に慣れ、機嫌よく過ごす。 〇保育者に見守られながら、好きな玩具を見 付けて遊ぶ。	見守られながら、好きな玩具を見 ムが安定する。 者と一緒		しようとする。	〇保育者に見守られながら,簡単な身の回り のことを自分なりにしようとする。 〇好きな遊びを通して,保育者や気の合う友 達とのやりとりを楽しむ。
育て	健人間	康	・食事・排泄・睡眠など安定した生活リズムの中で過ごす。 ・探索活動を楽しむ。 ・保育者など身近な人に関わり、興味や親しみをもつ。	 いろいろな食材に興味をもち、手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする。 水分補給や休息をとりながら、水遊びや戸外遊びを十分に楽しむ。 一人遊びをしたり、保育者や友達の真似をして遊んだりすることを楽しむ。 	・手伝ってもらいながら、着脱や食事をする。・走ったり、登ったり、くぐったりなど様々な身体の動きを楽しむ。	・簡単な着脱や片付けなどを保育者と一緒に やってみようとする。 ・寒さに負けず戸外で、いろいろな遊具を使 い全身を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・好きな遊びを好きな友達と一緒に楽しみ、	 簡単な衣服の着脱や片付け、持ち物の始末などを、保育者に見守られながらやってみようとする。 ・指先を使った遊びを楽しむ。 ・好きな遊びを友達と楽しみ、一緒に過ごすことを喜ぶ。
た い 子 ど	環		・身近なものに興味をもち、見たり触れたりする。・戸外で春の自然に触れて楽しむ。	・保育者や友達と一緒に、砂や水などの感触 を味わう。 ・夏の自然に触れて楽しむ。	する。 ・戸外遊びや散歩などを通して秋の自然に触れて、いろいろな物に興味を持つ。	・固定遊具やボールなどの遊具を使った遊びを楽しむ。	・散歩に出掛けたり、冬の自然に触れたりしてのびのびと遊びを楽しむ。
も の 姿	言	葉	・知っているものや欲しいものなどを指さしたり, 声や動作で伝えようとしたりする。・好きな絵本を読んでもらうことを喜ぶ。	・欲求や気持ちを、身振りや簡単な言葉で表し、伝える。 ・季節の歌や手遊びを楽しむ中で、様々な言葉に触れる。	て、自分のしたいことやしてほしいことを		・生活や遊びの中で、保育者や友達と簡単な 言葉のやり取りを楽しむ。 ・二語文が言えるようになり、会話が弾むよ うになる。
	表	現	・保育者と一緒に、わらべうたや手遊び、リ ズム遊びを楽しむ。	・季節の歌や手遊び、わらべうたを真似て楽しむ。・水の感触を楽しむ。	・保育者と一緒に身近な素材を使ってかくこ とを楽しむ。		
	- 環境構成(☆)と 援助(〇)の工夫		〇一人一人の生活リズムを把握し、無理なく	☆水遊びなどが十分楽しめるよう水温などを確認し、安全な環境を整える。☆活動後はしっかりと水分補給や休息、睡眠をとり快適に過ごせるようにする。○園児の体調や食欲に応じて量を調整し、無	体を十分に動かして遊んだりできるようにする。 ☆体を動かして興味がある遊びを楽しめるように、遊具や用具を用意する。 ☆散歩に出掛けたり、自然の素材を使った遊	分に行い、感染予防に努め、快適に過ごせるようにする。	○友達と一緒に楽しめるような遊びを用意 し、仲立ちをしながら相手の気持ちや関わ り方を知らせていく。 ○できたことをたくさん褒め、自信や意欲に
主	な行事	<u> </u>	・進級式・入所式・春の遠足・家庭訪問 ・参観日・健康診断(耳鼻科・眼科) ・誕生会	・参観日・歯磨き指導・七夕まつり・誕生会・健康診断(歯科・内科)・個人懇談・水遊び (保育参加 7月~11月)	・ふれあい運動会・秋の遠足・芋ほり ・お祭りごっこ	・七五三宮参り・焼き芋大会 ・生活発表会・クリスマス会 →・クッキング	・お店ごっこ・豆まき・参観日・お別れ遠足 ・ひな祭り・内科検診・お別れ会・個人懇談

2 歳児			笠[·画			
教育∙係	 子目標	○保育者との安定した関わりの中で、身の回りのことが自分でできる喜びを感じる。 ○模倣遊びやごっこ遊びを楽しみ、保育者の仲立ちにより友達との関わりを広げる。 ○保育者や友達との関わりの中で言葉が豊かになり、言葉で伝えたり言葉でのやりとりを楽しんだりす ○全身や指先を使った遊びを十分に楽しみ、丈夫なからだづくりをする。			養護	〇保健的で安全な環境の中で、園児一人一人の生活リズムを把握し、心身ともに快適な生活を送ることができるようにする。 〇自己主張や欲求を受け止めながら、園児が安心して過ごせるようにする。	
年間区分		I期(4月·5月)	Ⅱ期(6月・7月・8月)	皿期(9	月・10月)	IV期(11月・12月)	V期(1月・2月・3月)
		○新しい環境に慣れ、保育者に不安や要求を受け 止めてもらいながら安心して生活する。 ○保育者に見守られながら、自分の好きな遊びを 見付けて楽しむ。 ○散歩や戸外遊びを通して、身近な春の自然に触 れ、伸び伸びと遊ぶ。	のことを自分でしようとする。 〇保育者や友達と一緒に、夏の遊びを十分に 経験し、楽しむ。	○簡単な身の回りのことを自分でしようとする。○保育者や友達と一緒に、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。○進んで散歩に出掛けて秋の自然に親しみ、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。		〇保育者や友達と一緒に、ごっこ遊びや表現	〇保育者や友達と一緒に, ごっこ遊びや簡単な
	健康	・保育者や友達と一緒に、楽しい雰囲気の中で食事をする。 ・保育者と触れ合って遊んだり、好きな遊具を見付けて遊びを十分に楽しむ。	されてトイレに行こうとしたりする。 し、苦手な物であるだめ、好きな遊具を見 ・汗をかいたら手伝ってもらいながら着替え る。 ・尿意や便意を・十分に眠り機嫌よく目覚める。 うとする。		い雰囲気の中で食事をしずつ食べてみようとすせ自分からトイレに行こことを楽しむ。		・自ら進んでトイレに行くことができる。
育 て た い	人間関係	・保育者との安定した関わりの中で、安心して過ごす。 ・保育者や友達と挨拶を交わしたり名前を呼んだり触れ合ったりし、親しみをもつ。	ら、少しずつ友達と関わって遊ぼうとし、	と関わって遊ぼうとする。		・保育者が仲立ちとなり、相手の気持ちに気付こうとする。 ・保育者や友達と一緒にイメージを共有しながら遊びを楽しむ。	 保育者が関わりながら、ルールのある遊びを楽しむ。 保育者や異年齢の友達のすることに興味をもち、真似をして喜ぶ。
子 ど も の	環境	・自分の持ち物や、ロッカー、靴箱などに興味をもつ。 ・草花や虫を見たり触ったりして春の自然に親しむ。	・夏の花や野菜を見たり、小動物に触れたり 探したりして興味や関心をもつ。	・散歩に出掛け,秋の	の自然物を見たり触れた	・秋の自然物を使った遊びの中で、大きさや形などの違いに興味や関心をもつ。	
姿	言葉	・手遊びや歌を、保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・好きな絵本を読んでもらうことを楽しむ。	・絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりする。 ・したいことやしてほしいことを断片的に言葉で表現する。	名前に興味をもつ・簡単な物語に興味	回りのいろいろなものの。 :をもって,喜んで聞いた を楽しんだりする。	取りをしたりする。	しむ。
	表現	・保育者や友達と一緒に, リズムに合わせて体を 動かしたり歌ったりして楽しむ。	・身近な素材を使い, 自由にかいたりつくっ たりして楽しむ。	・身近な素材で, 伸でむ。	び伸びと絵をかいて楽し	・音楽に親しみ,楽器を鳴らしたり,リズムに 合わせて踊ったりする。	伸びと表現することを楽しむ。
環境構成(☆)と援 助(〇)の工夫		ごせるようにし、子どもとの信頼関係をつくっていく。 ☆家庭や保育者同士の連携を密にし、一人一人の健康、発育状態を把握する。 ☆靴箱やロッカーに印を付け、自分の持ち物や場所が分かるようにする。 〇子どもが好きな遊びを見付けられるよう、必要な物を準備したり、保育者が一緒に遊びながら楽しい思いを共有したりする。	動と休息のバランスに配慮する。 ☆安全面や衛生面に配慮しながら、自然や身近な事物と十分触れ合えるようにする。 ○園児が安心して排泄できるように、丁寧に対応する。 ○園児の言葉やしぐさを優しく受け止め、自分の思いを伝えることが楽しいと思えるように関わる。	E面に配慮しながら、自然や身 一分触れ合えるようにする。 して排泄できるように、丁寧に してするとの自然に触れ、保育: たりできる場を整 しく受け止め、自 云えることが楽しいと思える		もり遊びやごっこ遊びに先生も加わったり、子どものイメージに合った遊具を用意したりする。 〇子どものつぶやきや仕草などに共感しながら、表現する喜びが味わえるようにする。 〇身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にし、ゆとりをもって見守りながら意欲へとつなげていく。	する。 ☆感染症が流行する季節なので予防に努め、温度、湿度、換気などに留意する。 ○一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じた手助けをし、自分でしようとする気持ちを育てる。
主な	:行事	・入所式・春の遠足・家庭訪問・参観日 ・健康診断(耳鼻科・歯科)・誕生会	・参観日・歯磨き指導・七夕まつり・健康診断(歯科・内科)・誕生会(保育参加 7月~11月) ————	・ふれあい運動会・ ・お祭りごっこ	秋の遠足・芋ほり	・七五三宮参り・焼き芋大会・生活発表会・クリスマス会・クッキング	・お店ごっこ・豆まき・参観日・お別れ遠足 ・ひな祭り・内科検診・お別れ会・個人懇談

	3歳児			笠岡市立吉田保育所	f 年間保育計画	į	
教育・保育目標		○園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。 ○先生や友達に親しみをもち、友達と遊ぶことを楽しみながら、安心していろいろな遊びに取り組む。				○保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ○一人一人の園児の欲求を受け止め、安心して生活できるようにする。 ○自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。	
左	F間区分	I期(4月·5月)	Ⅱ期(6月・7月・8月)	Ⅲ期(9月·10月)		Ⅳ期(11月・12月)	Ⅴ期(1月・2月・3月)
ねらい		○新しい保育室や保育者に親しみをもち、安心して生活する。 ○友達や保育者と一緒に好きな遊びを見付けて楽しむ。 ○春の身近な自然に親しみ、興味・関心をもちの身近な夏の自然に親しむ。		○生活リズムを取り戻しながら、 分でしようとする。○保育者や友達と一緒に、同じ味わう。○戸外で十分に体を動かして遊○秋の自然に触れながら遊ぶこ	遊びをする楽しさを	○身の回りのことを自らしようとする。 ○遊びの中でイメージを膨らませたり、表現したりして楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に様々な遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ○秋から冬へと移り変わる自然に興味をもち、触れて遊ぶ。	○身の回りのことを、自信をもって自らしようとする。 ○戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ○冬ならではの自然現象に気付き、興味をもつ。 ○進級への期待をもって生活する。
	健康	・園生活の仕方を知り、少しずつ慣れる。 ・身の回りの始末の仕方を再確認する。 ・遊具や用具の、安全な遊び方を知る。 ・散歩に行き十分に歩く。	・遊びに必要な身支度や始末を自分でしようとする。 ・保育者や友達と一緒に夏ならではの水遊びを十 分にする。	・健康な生活リズムを身に付けたいろいろな遊具・運動遊具に掛りたを達や先生と一緒に安全に気	比戦する。	・手洗いやうがいが習慣づき風邪などを予防する。 ・戸外で思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・簡単なルールのある遊びを楽しむようになる。	・持ち物の始末や身支度など必要な動きを自分でする。・寒さに負けず戸外で体を動かして遊び、元気に過ごす。
育 て た	人間関係	・自分のクラスが分かり、担任や友達を知り、 安心して過ごす。	・好きな遊びを楽しむ中で、友達のすることを見たり真似したりしながら一緒に遊ぼうとする。 ・身近な人に日常の挨拶をしようとする。	・簡単なルールのある遊びやこ 友達と一緒に楽しむ。 ・友達と遊ぶ中で自分の思いや 者に支えられながら友達の思	5気持ちを出し、保育	・保育者や友達と関わりながら遊ぶことの楽しさを感じる。 ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、 友達と一緒に楽しんで遊ぶ。	・友達を誘って一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・成長したことを喜び、進級を楽しみにする。
い子どもの	環境	・自分の持ち物や玩具の置所を知り、遊んだり使ったものを片付けようとする。 ・春の草花や虫を見たり触れたりして楽しむ。	・生き物や植物に興味をもち、保育者が世話をするのを見たり手伝ったりする。 ・水や土などに触れながら、感触を味わえる遊びを十分に楽しむ。	・いろいろな運動遊具に触れてきます。・秋の自然に触れる中で、見たながら興味や関心をもつ。		・身近な物の色、形、大小などの違いに気付く。 ・集めた自然物を使っていろいろな遊びを楽しむ。	・冬の自然に触れたり体で感じたりする中で、驚いたり面白さを味わったりする。・文字や数などに興味をもつ。
姿	言葉	・日常の挨拶や返事など生活や遊びに必要な簡単な言葉を使う。 ・絵本を見たり、読んでもらったりすることを楽しむ。	・自分の経験したことや思いを自分なりの言葉で、 保育者や友達に伝えようとする。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、進んで使う。	・保育者や友達と言葉のやり取 思ったことや見たこと聞いたこ ようとする。		・友達との関わりの中で、言葉のやりとりを楽しむ。	・自分の思いを言葉にしたり、相手の話を聞こう と したりする。
	表現	・保育者や友達と一緒に、歌を歌ったり手遊びをしたりすることを楽しむ。 ・身近な素材に触れて楽しむ。	・身近な素材に触れながら、伸び伸びとかいたりつくったりする。・保育者や友達と一緒に楽しんで歌を歌ったり簡単なリズムに合わせて踊ったりする。	いろいろな素材を使ってかいたりつくったり、それを使って遊んだりする。音楽に合わせてダンスや体操をして体を動かすことを喜ぶ。		・身近な素材で好きな物を作り、それを使って見立てたりごっこ遊びを楽しんだりする。 ・保育者や友達と一緒に歌ったり、簡単な楽器を使ったりして遊ぶ。	・気の合う友達と一緒に、自分の思いを言葉や動きで表現しながら遊ぶ。
	i成(☆)と ○)の工夫	 ☆自分の場所が分かるように靴箱やロッカーなどに個人マークを付け、安心して持ち物の整理ができるようにする。 ☆好きな遊びができるように、遊具や用具の表示の仕方や配置などを整える。 ○一人一人を温かく受け入れ、気持ちに寄り添い安心して過ごせるようにする。 ○保育者と一緒に遊んだり興味がもてるよう誘ったりして、好きな遊びが見付けられるように関わる。 ○生活の仕方や必要なきまりを丁寧に伝えていく。 	○生活習慣など個人差に応じて関わり、自分から しようとする気持ちを育てる。 ○興味のある遊びを楽しみ、次第に同じ場所にい る友達とつながりがもてるよう配慮する。	☆運動会を楽しみにし、やってる 運動会の話をしたり、4・5 歳 を見たりする機会をもつ。☆興味のある遊びを友達と一糸	児が遊んでいる様子 者に楽しめるよう場を 調節したりする。 ら、その園児なりにや らようにする。 花のある場所を把握	☆いろいろな表現あそびが楽しめるように、必要な物や場を整える。☆自然物に触れたり遊びに使ったりできるように、目に付きやすい場所に置いておく。〇トラブルの状況に応じて、見守ったり仲立ちをしたりしながら、相手の思いに気付けるようにする。○身の回りのことを自分から進んでしている姿を認	安全で健康的な環境になるように留意する。 ☆冬の自然現象や春の訪れに関心がもてるよう に、戸外で過ごす時間を大切にする。 ○園児同士で一緒に遊べるような環境を用意し たり、保育者も一緒に仲間に入ったりしなが
Ē	主な行事	・入所式・春の遠足・家庭訪問・参観日 ・健康診断(耳鼻科・眼科) (・誕生会・クッキング	・参観日 ・参観日・歯磨き指導・七夕まつり ・健康診断(歯科・内科)・個人懇談 ・お祭りごっこ		・芋ほり	・七五三宮参り・焼き芋大会・生活発表会・クリスマス会	・お店ごっこ・豆まき・参観日・お別れ遠足 ・ひな祭り・内科検診・お別れ会・個人懇談
		お話の会 5月~2月)	(保育参加 7月~1月)				7

4歳児 教育・保育目標 年間区分					Ī		
		標	○保育所生活に慣れ、できることは自分でし、 ○保育者や友達と関わりながら、一緒に活動 ○身近な自然やいろいろな遊びに興味をもち、	する楽しさを味わう。	養護	○集団生活の中で、安全で健康な生活ができるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ○子ども達一人一人の思いを受け止め、楽しい雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。	
年間区分			I 期 (4 月・5 月)	Ⅲ期 (6月・7月・8月)	皿期 (9月・10月)	IV期(11月・12月)	Ⅴ期(1月・2月・3月)
	ねらい		分でしようとする。	○身の回りの始末や水遊びの準備など自分でする。 ○保育者や友達と一緒に、泥んこやプールなど夏の遊びを十分に楽しむ。 ○身近な夏の自然に触れ、親しみをもつ。	わう。 〇友達と一緒に簡単なルールのある遊びを 楽しみながらつながりを広げていく。	○自分の思いや考えを出しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○友達と一緒にいろいろな遊びする中で、イメージや言葉を豊かにする。 ○季節の変化を感じながら、身近な自然と関わって遊ぶ楽しさを味わう。	との関わりを深める。 〇身近な冬の自然現象に触れる中で様々な 事象に関心をもつ。
	健	康	・園生活に必要な決まりや約束を守ろうとする。 ・保育者や友達と好きな遊びを楽しむ。 ・遊具や用具で遊びながら安全な使い方を知る。 ・喜んで登所し、保育者や友達と一緒に過ご	・遊びの身支度や後始末・水分補給・休息などをし、健康に過ごす。 ・暑さに負けずバランスよく食事をとり元気に過ごす。 ・水遊びやプール遊びを通して水に親しむ。 ・気の合う友達のしていることや遊びに興味	・いろいろな運動遊びに興味や関心をもち、体を十分に動かして丈夫な体を作る。 ・好き嫌いを減らしたり、生活リズムを大切にし、健康的な生活習慣を身につけていく ・ルールのある遊びを通して、決まりを守っ		
育て	人間	引関係	すことを楽しむ。	ををもち,一緒に活動する楽しさを知る。 ・年長児をお手本とし,できることはしよう とする。	たり、力を合わせたりすることを知り、楽 しさを味わう。	る。 ・年長児の遊びに興味・関心をもち,遊びに 取り入れる。	ったり待ったりする。 ・年長児と関わって遊ぶ中で, 憧れの気持ち や進級への期待をもつ。
た い 子 ど	環	境	・戸外遊びや散歩を通して身近な春の自然や動植物に興味をもち、触れたりすることを楽しむ。 ・野菜や花を植えたり、世話をしたりする。	 ・水、砂、土などに触れて遊び、自分なりに 試したり工夫したりして遊ぶ。 ・夏の虫や草花自然事象に興味をもち見たり 触れたりする。 ・夏野菜に興味をもち、水やりをしたり、観 察したり、収穫することを楽しむ。 	しなどの秋の自然に触れ、取り入れて遊ぶ。 ・いろいろな運動遊具に関心をもち、繰り返	しみ,季節の変化を感じたり美しさや不思 議さに気付いたりする。	・遊びを通して、文字や数量に関心をもつ。 ・雪や霜などの冬の自然に触れて遊んだり、
も の 姿	言	葉	・保育者の話を聞いたり、自分の気持ちを伝えようとしたりする。・絵本や紙芝居を見たり聞いたりすることを楽しむ。・外国の先生との触れ合いを楽しむ。	・見たことや思ったことを保育者や友達に自分なりの言葉で話すことを喜ぶ。 ・自分の好きな絵本や紙芝居に親しむ。	・生活や遊びの中で、自分の思いを言葉で伝えたり、友達の話を聞いたりする。・絵本や紙芝居などを見たり聞いたりして、イメージを広げる。	・自分の思いを友達に伝えたり、相手の気持ちや思いに気づいたりする。 ・絵本や紙芝居などの面白さを、話したり聞いたりしてイメージをもち、登場人物になりきって話すことを楽しむ。	・友達と互いに思いを伝え合って遊ぶ。 ・絵本や紙芝居・素話など、様々なお話を見 たり聞いたりすることを喜ぶ。
	表	現	・身近な素材・用具に親しみ聞いたりすることを楽しむ。・友達と一緒に歌を歌ったり、手遊びを楽しんだりする。	・いろいろな素材や用具を使って遊ぶ。・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。	・いろいろな材料を使って遊びに必要なものをつくる。	・イメージを膨らませながら、友達や保育者と一緒にいろいろな役になりきって遊ぶ。・歌ったり、踊ったり、楽器を扱ったりする中で、音楽に親しむ。	り,つくったりする。
環境構成(〇)の		と援助	仕方を工夫したりするなど自分から遊びを始められるような環境を整える。 ☆身の回りの始末や片付け等をやってみようという思いがもてるように、手順や場所	放感を楽しめるよう様々な素材や道具を 準備する。	したりできるような用具を準備し、場の設定を行っていく。 ☆身近な自然を遊びに取り入れたり、園外保育に出掛けたりするなど、園内外の自然に触れる体験の場を多くもつようにする。 ○集団で遊ぶ楽しさや満足感が味わえるよう、園児の考えやルールを生かして、遊び	 ☆自然物に興味をもち、遊びに取り入れられるように、身近に置いておく。 ○様々な表現が楽しめるよう、一人一人の思いやイメージを受け止め、共感する。 ○トラブルが生じた場合は、お互いの気持ちを受け止めたり、一緒に考えたりしながら相手の思いにも気付くことができるようにする。 	な遊具や用具を用意する。 ☆冬の自然の様子や春の訪れに気付くように、身近な自然に触れる機会を意図的にもつ。 ○自分の思いを伝えたり友達の思いに気付いたり互いに共感したりできるよう、場を
Ē	⋸な行事		・入所式・春の遠足・家庭訪問・参観日 ・健康診断(耳鼻科・眼科) (・外国語活動・誕生会・クッキング ・お話の会5月~2月)	・参観日・歯磨き指導・七夕まつり・健康診断(歯科・内科)(保育参加 7月~1月)	・ふれあい運動会・秋の遠足・芋ほり・お祭りごっこ	・七五三宮参り・焼き芋大会・生活発表会・クリスマス会	・お店ごっこ・豆まき・参観日・お別れ遠足 ・ひな祭り・内科検診・個人懇談 ・修了式に参列

5	5 歳児 教育・保育目標				吉田保育所	年間保育計画		
教育			○周囲の様々な環境に好奇心や探求心力を養う。 ○経験したことや考えたことなどを自 欲や態度を育て 言葉に対する感覚	するために、自立心を育て、人と関わる力を いをもって関わり、それらを生活に取り入 自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉	れていこうとするを聞こうとする意	養護	ができるようにする。	ち, 必要な習慣や態度を身に付けること 満たし, 情緒の安定した生活ができるよ
年	間区分		1期(4月・5月)	2期(6月・7月・8月) 3期(9		月・10月)	4期(11月・12月)	5期(1月・2月・3月)
ねらい			○年長になった喜びや自覚をもち、進んで様々な活動に取り組む。○春の自然や身近な動植物に興味や関心をもってかかわろうとする。	○友達と関わりながら一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 ○身近な自然物や素材等に興味をもち見たり触れたり試したりしながら遊ぶ。	にやり遂げる喜び ○戸外で友達と一般 通して体を動か む。	をもって,友達と一緒 びと実感を味わう。 緒に様々な運動遊びを して遊ぶことを楽し み,取り入れて遊ぶ。	共通の目的に向かって遊びを進めて いく満足感を味わう。	○友達と共通のめあてや見通しをもって、自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○成長した喜びやお世話になった人への感謝の気持ちをもち、就学への期待と自信をもつ。 ○春を迎える自然の変化に気づき、その不思議さを感じる。
	健	康	○園生活で必要なきまりや生活習慣 を再確認し,健康で安全に過ごせ るようにする。 ○友達と一緒に身体を十分に動かし て遊ぶことを楽しむ。	○友達と一緒にいろいろな遊びに取り組み,身体を動かす解放感を味わう。 ○自分の身体や体調に関心をもち,健康に必要な習慣を身に付ける。	運動遊びに進ん 〇自分なりの目標		〇健康や病気予防に関心をもち,手洗い,うがい,衣服の調節を行う。 〇戸外でしっかり体を動かし,いろい ろな遊びに取り組む。	
育て	人間	関係	○遊びへの意欲をもち,友達と一緒に活動することを喜ぶ。 ○年長児としての自覚をもち,思い やりをもって異年齢児の世話をしたり,一緒に遊んだりする。	〇友達と思いや考えを出し合いながら 一緒に遊ぶ楽しさを味わう。		E話し合い,友達と協 めていく楽しさを味		○目的に向かって工夫したり、協力したりしながら遊びを作り上げていく楽しさを味わう。 ○成長を喜び、世話になった人への感謝の気持ちや入学への期待を持つ。
たい子ども	環	境		○夏野菜や小動物などに興味をもって 世話をしたり観察する。 ○量や素材,様々な事象に興味や関心 をもち,試したり工夫したりする。	て関わったり遊	に興味や関心をもっ びに取り入れたりす		〇霜や氷など冬の自然現象や春の訪れ に興味・関心をもち、見たり試したり して遊ぶ。
。 の 姿	言	葉	○自分の思いや考えを出しながら遊びを楽しむ。○いろいろな分野の絵本に親しむ。	〇自分が体験したこと、経験したこと、 友達と共通の話題について話すこと を楽しむ。	かるように話し	、聞いたり,相手に分 たりする。 メージを広げながら	〇絵本や物語に興味をもち、友達と共 感し合ったり、いろいろな言葉遊び	○相手の話を注意して聞いて理解したり、考えたことを相手に分かるように話したりする。
	表	現	○身近な素材を使い、描いたり作ったりする。○保育者や友達と歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。	○様々な素材を使ってその性質に気づき、試したり工夫したりして表現する。 ○友達と一緒に歌を歌ったり、様々な楽器を使ってリズム遊びをしたりする。	○友達とイメージ な素材を使ってi ものを一緒に作る ○友達と一緒に、曲	を共有しながら, 様々 遊び場や遊びに必要なることを楽しむ。 に合わせて歌ったり, きを楽しんだりする。	〇友達とイメージを共有し,感じたこと想像したことを言葉・体・音楽・ 造形などで、表現したり演じたりする。	○いろいろな素材や用具を使い,遊び に必要なものを友達と相談したり, 協力しながら作る。 ○曲の雰囲気を感じ取り,友達と気持 ちを合わせて歌を歌ったり,楽器を 演奏したりする。
	環境構成と 援助の工夫		・年長になった実感が持てるように 環境を工夫すると共に、子どもの 考えや提案を受け入れながら環境 を工夫する。	・一人ひとりの健康状況に十分に留意して、汗の始末や水分補給などの声かけをする。 ・友達と一緒に遊びを進めることができるよう、時間を十分に確保したり遊びの場を工夫したりする。	かりと体を使って遊ぶことを楽しめ るように遊具や用具の用意をする。		・イメージしたことが実現できるよう に素材や用具を準備したり, 時間や 場所を確保したりする。	気の合った友達と遊ぶ楽しさを存分 に味わい、仲間意識を感じられるよ うに、ゆったりとした時間がもてる ようにする。
主	な行事	- <u>-</u>	入園式 遠足	プール遊び 個人懇談	運動会 秋の遠足	芋ほり	生活発表会 クリスマス会	お別れ会 卒園式
地域	主な行事 地域との連携		・エヒメアヤメ祭りに参加(箱田山神社) ・尾坂幼稚園との交流会 ・・保育所に来てもらい、合同運動会の 練習を楽しんだり、遊んだりする ・吉田小・尾坂幼との合同運動会 (地区民運動会)	・プレイナイト ・ふるさと祭りに参加(盆踊りをする) ・夏のボランティア受け入れ	・尾坂幼稚園との交流 もらい一緒に遊ぶ)遊びの様子を展示する 流会・・幼稚園に行かて (3. 4.5 歳児) ・・地域のおじいさん、	・職場訪問・・お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを伝える・いきいきチャレンジ受け入れ(中学生)・家庭科授業受け入れ(新吉中学校)	・餅つき大会(祖父母参観) ・吉田小との合同避難訓練 ・人権文化祭展示・・一年間の人権の取り組 みを展示発表する ・5年生との交流・一日入学・・小学校入学後、 スムーズにスタートするための関わりをする、5歳児)

吉田保育所	1期(4月・5月)	2期(6月・7月・8月)	3期(9月・10月)	4期(11月・12月)	5期(1月・2月・3月)
	 ②身近な自然に触れて遊ぶ中で豊かな感性を養い、思いやりの気持ちを育てる 〇小動物に親しみ興味しろいな」 (カエル・バッタ・カナへど・デジョする・カムシ・オタマジであるが道のあず道・満・カムシ・オタマジでのあず道・満・場所・関連など・保育所近隣の自然物のマップを作る ○散歩に行き五感で春をさ」「鳥の鳴き声」 ・・保育がよいがである。 ○散歩に行き五感でもさ」「鳥の鳴き声」 ・・ばかばかまから、「においばがいた。 ○本にメアヤメ・・箱田山神社・ばかばかきなカー・カーンジー・カーンジー・カーンジュース作りまた。 ・・押し花⇒制作用 	○命あるものをいたわる気持ちを育む 「ふしぎ」「たのしい」「どうしたのかな」 「かわいそう」「~してあげよう」 (カブトムシ・クワガタ・ザリガニ セミ・バッタ・対育する⇒観察する ⇒気付く⇒よく見て絵を描く ・自然物マップに生き物がいた場 べたことを、思ったことをする 「・砂場で泥んことでびび (ダム・山・プール・スライム作り・水鉄砲・マリール・スライム作り・やサガオ・マリール・ペチュニア) ・ 地域の生長に興味を持つ ・ アサガオを育てる 水やり⇒観察⇒調べる⇒遊ぶ (花の数を数えたり色水遊びをしたりする)	○虫の声をを聞いたり、秋の自然物に触れて秋を感じる「ふしざ」「おもしろい」「どうして?」・カンボン・オースがあるがはないに気付する。 ・ はないに気付する。 ・ はないに気付いないの様子に動植物のに思った。 ・ はな野菜があるのかない。 ・ はいるいでも、 のの様子に興味をもっ」の発見したを書くの出んばや畑の様子に興味をもっ」の染物についるがあるのかなっ。 はいるいではないの様子に関いないのでは、とを書いるがあるのがあるがあるのがあるがあるのがあるがある。 ・ はいがいのでは、 といいのとは、 できる草木出し、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 ○命あるものの不思議さを感じたり、いたわりの気持ち、責任感を育む「ふしぎ」「おもしろい」「・・しなけば」 (コオロギ・スズムシなど)・霧吹きなど、秋の虫の産卵後の世話の世話をする・自然マップを見ながら探してみる⇒図鑑で調べる⇒脱皮の様子・幼虫の形などを知る ○編み物を楽しむ・秋の草花・実などで染めた毛糸で編む(ポシェット・マフラー・あやとり紐など) 	○春を待つ小動物に興味や関心をもち探したり様子を見たりする (カマキリの卵・ミノムシ・カブトムシの幼虫) ・冬越しのの様子を図鑑で調べる・調べたを自然でするとを で調べたを通しての自然に動した。とをまとめてみる ○冬の自然に触れて遊ぶ「~してみみみの自然に触れて遊ぶ「~はってみみる・っぱがある・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
具体的な活動・内容	 ●野菜を栽培し、その成長に気付いたり、収穫を楽しんだり、調理して食べたりすることを通して食への関心を高める ○春野菜を収穫する ・収穫⇒比べる(色・大きさ・数)⇒味わう (イチゴ・そら豆・エンドウ・玉ねぎ) ○夏野菜を育てる ・図鑑で調べる ・自分の好きな野菜を植える ・土作り⇒種やマン・ナス・オクラキュウリ・ピースイカ・ハ豆・ゴーヤ)・カッキュウグを楽した ・クッショの塩ゆで・☆かしわもち 	 ○さつまいもを育てる ・土作り⇒芋づるを植える⇒水やり⇒ 観察 ○夏野菜を収穫する ・収穫⇒比べる(色·大きさ・数)⇒ 味わう ・クッキングを楽しむ ・クッキングを楽しむ ・変野菜ピザ・☆梅シロップ 	○植物の成長に興味を持つ ・観察⇒種の収穫⇒種の大きさや色の 比較⇒数える ・収穫した種で来年も花を咲かせよう ○冬・春野菜を育てる ・土作り⇒芋づるを植える⇒水やり⇒ 観察 (大根・人参・玉ねぎ・ブロッコリー ラディッシュ・カブ・ほうれん草など) つさつまいもを収穫する ⇒遊ぶ ・蔓で遊ぶ ・並べて遊ぶ ・芋版などで遊ぶ ・サングを楽しむ ☆月見団子・☆吊るし柿	 ○春野菜を育てる (イチゴ・玉ねぎ・スナップエンドウ そら豆・キャベツなど) ・冬野菜を収穫する ・収穫⇒比べる(色・大きさ・数)⇒ 味わう ○焼き芋大会をする ・木の葉や小枝を集める ・焚火で芋を焼く ・みんなで楽しく味わう。 ・クッキングを楽しむ 	 ○冬野菜を収穫する (大根・カブ・人参・ブロッコリーほうれん草など) ・収穫⇒比べる(色・大きさ・数)⇒味わう ○ジャガイモを植える ・土作り⇒芋づるを植える⇒水やり⇒観察
	 ◎様々な活動を通して健康な心と身体を育てる ○継続して運動あそびに取り組む・保育者と一緒に挑戦する・保育者や異年齢の友達と楽しむ(鉄棒・雲梯・ボールあそび・体操・集団あそび・かけっこ・リレー・など) ○絵本・素話・わらべ歌・手遊びを楽しむ 	 ・友達のお手本を見ながら、自分のカーでやってみようとする ・保育者や友達と一緒にルールを覚えながら遊ぶ (プール・水遊び・ケンパ・跳び箱・鬼ごっこ・ケンパ・ラダーなど) 	 ・苦手な事でもあきらめず繰り返し挑戦しようとする(運動会に取り入れる) - ・保育者や友達と一緒にルールを守って遊ぶ (跳び箱・平均台・玉入れ・リレー・鬼ごっこ・ケンパ・ラダーなど) 	 ★スィートポテト・☆クリスマスケーキ ・友達と励まし合いながら繰り返し 一挑戦する ・友達と一緒に考えたり話し合ったりしながら遊びを進める(マラソンごっこ・鬼ごっこ・ラダーなど) 	 ★切り干し大根・☆スノーボールクッキー ・互いの頑張りを認め合ったり,難しいことにも挑戦する。 ・友達と一緒に考えたり話し合ったり折り合いをつけたりしながら楽しく遊ぶ(マラソンごっこ・縄跳び・鬼ごっこ・ラダーなど)
	・お話の会に参加し、楽しく見聞き する ○様々な表現遊びを通して、表現する 喜びを味わう ・季節の歌をうたう ・曲に合わせて体操やダンスを楽しむ ・リズム遊びを楽しむ ・好きな楽器を鳴らして遊ぶ ・自由に描いたり作ったりする (クレパス・折り紙・粘土など) ・外国語活動を楽しむ	・面白さがわかる 「・繰り返しリズム打ちをする ・曲に合わせて楽器を鳴らしたり、ダ ンスをしたりする ・その性質に気づき、試したり工夫 したりする (水・砂・泥など)	・イメージを広げながら見聞きする ・自分で絵本を読んで楽しんだりする ・曲に合わせて、友達と気持ちを一つにして楽器を演奏する ・曲に合わせてダンスを楽しむ ・友達とイメージを共有しながら、遊び場や遊びに必要なものを作る (廃材・セロテープなど)	・友達と共感し合う ・色々な表現遊びを楽しむ 「・友だちと一緒に気持ちを合わせて歌ったり、鍵盤ハーモニカなど色々な楽器を演奏したりすることを楽しむ・工夫して友達と一緒に作り上げる満足感を味わう 」(段ボール・ガムテープ・模造紙など)	 自分たちの表現したいものを、互いに見せ合いながら遊びを楽しむ 様々な用具や遊具を適切に使い、自分の好きな方法で表現することを楽しむ 表現することを楽しんだり、認めてもらったりする喜びを感じる